



新ゴリラ日記



vol.84

2024年4月

✿ 試行錯誤しました… ✿

4月8日に行ったゲンキの健康診断についての裏話です。これまでゲンキに注射で麻酔をかける際、まずはモモタロウとゲンタロウをグラウンドに出し切り、室内にはゲンキとキンタロウの2頭だけにします。そしてキンタロウをゲンキのいる隣の部屋に餌を与えながら留めておき、ゲンキに2本目の麻酔薬を打った時点で2頭のいるそれぞれの部屋の間の扉を完全に閉めて分離する、という方法でした。この後、キンタロウはモモタロウ・ゲンタロウと同居状態になるのですが、ゲンキと分離してすぐは完全に1頭になっていました。今回の健康診断に向けて練習をするにあたり、キンタロウの精神的な負担が少しでも減らせないかと考えて、オス3頭を同居状態のまま、できるだけキンタロウをゲンキの隣の部屋に留まらせてゲンキに注射を打つことを試みました。オスたちは餌をつけてあるグラウンドにも出ていける状態にしていました。やってみると、キンタロウは始めは美味しいものをゲットしたい一心でグラウンドに飛び出していきましたが、少し経つと室内に戻ってくるのがほとんどでした。ゲンタロウはいつも通りグラウンドに出て行って餌を食べ始め、ゲンキに2本の注射が打ち終わるまでほぼ室内に戻ってくることはありませんでした。モモタロウは時々室内に戻ってきましたが、副担当から餌をもらうキンタロウに怒ることもあまりなく、予想よりもオス3頭が一緒にいても、キンタロウをゲンキの隣の部屋に留めやすそうということがわかりました。一時は練習の時点で扉を完全に閉めて分離に慣らすことも試しましたが、やはりゴリラたちが落ち着かず短期間で慣らすのは難しそうだったため、完全分離は当日のみに行うことにしま

した。

そして健康診断当日、練習の時は時々ゲンキの部屋に戻ってくることもあったキンタロウでしたが、いつも以上に長い間グラウンドに出て行きゲンキに2本目の麻酔薬を打ち終わるまで、ゲンキのいる部屋に戻ろうとする素振りすら見せませんでした。もちろんゲンキのいる部屋への扉を完全に閉めた時には鳴き声を上げていたキンタロウですが、前回よりは騒いでいる時間が短いように感じました。実際キンタロウがどう感じていたかはわかりませんが、父や兄と一緒にいたことで少しでもショックが軽減されていれば嬉しいです。

健康診断に向けての練習の時は毎回はじめの試行錯誤の段階で色々なことを考えてかなり悩みますが、これからも少しでもゴリラたちにとって良い方法を選択できるようにしたいと思います。



↑ゲンタロウは練習の時点から、我関せず…で餌を食べていました。こういう場面でも、ゲンタロウの成長を感じます。

～今回の一枚～

「ご機嫌 ^^;」

毛布の上で植木鉢を持って、ニツという表情を見せてくれたモモタロウ。

立派な体に似合わない姿のような気もしますが、こういう所のあるモモタロウが担当者は好きです♪

